

## 予 算 要 求 資 料

令和 5 年度 9 月 補正 予算 支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 **新** 外来魚生息拡大防止緊急対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号：058-272-1111(内4216)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,603 千円 (現計予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 源 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,603	0	0	0	0	0	0	0	10,603
決定額	10,603	0	0	0	0	0	0	0	10,603

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和 5 年 5 月に美濃市内の長良川でコクチバスの生息が初確認された。コクチバスは外来生物法で特定外来生物に指定されている肉食魚であり、低水温環境へ適応できることと、高い遊泳力をもつことから河川において繁殖し、アユ等の水産資源に対する食害が発生する恐れがある。また、河川で一度定着・拡大してしまうと完全な駆除が極めて困難である。

そこで、緊急対策として、長良川水系において環境DNA等を用いたコクチバスの生息状況調査を実施する。また、長良川流域にリリース禁止の啓発看板を設置し、生息域の拡大を防ぐ。

## (2) 事業内容

- 環境DNA等を用いたコクチバスの緊急生息状況調査
- 看板設置によるコクチバスリリース禁止の啓発

### (3) 県負担・補助率の考え方

長良川においてコクチバスが初確認され、「清流の国ぎふ」づくり、そして世界農業遺産「清流長良川の鮎」の認定を脅かす存在であり、長良川流域に広がる恐れがあることから、県が早急に対応する必要がある。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	347	業務旅費
需用費	5,963	環境DNA等を用いた調査にかかる消耗品費、燃料費、ポスター等印刷
委託料	1,400	リリース禁止の看板作製及び設置費
使用料及び賃借料	48	高速道路使用料
備品購入費	2,845	環境DNA等を用いた調査用機器、電気ショッカー購入費
合計	10,603	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画 (R3～R7)

第7章 主要品目別施策

(19) 淡水魚

### (2) 国・他県の状況

特定外来生物等による被害の防止措置に対する支援 (水産庁基本方針)

栃木、群馬、長野、滋賀県においてコクチバスの買い取り補助を実施。

### (3) 後年度の財政負担

環境DNA等を用いたコクチバスの生息状況モニタリングを継続的に実施することが求められる。

### (4) 事業主体及びその妥当性

漁業法第六条 国及び都道府県は、漁業生産力を発展させるため、水産資源の保存及び管理を適切に行うとともに、漁場の使用に関する紛争の防止及び解決を図るために必要な措置を講ずる責務を有する。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 コクチバスのリリース禁止の啓発及び環境DNAを用いたコクチバスの生息状況モニタリングを継続的に実施し、蝸集または拡大が認められる場合には、速やかに駆除を実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	達成率
①長良川水系における環境DNA調査地点数（毎年）	0	20	20	20	-
②長良川流域における看板設置数（累計）	0	10	10	10	-

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 漁協、遊漁者そして県が一体となって、コクチバスの生息状況を注視する必要がある、情報共有を速やかに行えるような体制を整える。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 水産関係団体及び一般県民の関心の高い事業であることから、継続的にモニタリングを実施する必要がある。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】